

哲學研究

第五百六十四號

平成九年十月十日發行

彙報

ヘーゲルの〈感性論 (Ästhetik)〉……………岩城 見一

——心の病をめぐる——

ことばと思索……………藤田 正勝

——あるいは日本語と哲学——

情動の批判的機能……………秋庭 史典

——ヘルマン・コーヘンにおける美学と倫理学——

パーフィットの功利主義擁護論……………奥野 満里子

——人格論からのアプローチ——

京都大學文學部内
京都哲學會

京都哲学会規約

- 一、本会は広義における哲学の研究とその普及を図ることを目的とする。
- 二、右の目的のために左の事業を行う。
 - (一) 会誌「哲学研究」を発行する。
 - (二) 毎年公開講演会を開く。
 - (三) 随時研究会を開く。
- 三、本会の事業を遂行するために委員若干名をおく。委員は京都大学大学院文学研究科の旧哲学科系所属教官の有志、および委員会において推薦したものに委嘱する。
- 四、本会は賛助員若干名をおく。賛助員は会員の中から委員会が推薦する。
- 五、本会は会員組織とし会員には資格の制限を設けない。学校・図書館・他の団体は団体の名を以て入会することができる。
- 六、会員は年会費一、〇〇〇円と会誌代五、〇〇〇円（教冊分）を前納する。
- 七、会員は会誌の配布を受け会誌に予告する諸種の行事に出席することができる。
- 八、本会は事務所を京都大学文学部内におく。
- 九、規約の改正は委員会の決定による。

京都哲学会役員

委員

山宮御水水松寶藤藤福長中中徳簡蘭清佐川加苧内内岩井乾伊伊池芦
 本島牧谷垣田月田田谷谷村畑永井田水木添藤阪山井城上 藤藤田名
 耕久克雅 素 正和 正俊正宗清 代 丞信尚直勝惣見 敏邦和秀定
 平雄己彦涉二誠勝生茂當春志雄忠坦明平介武行利七一俊郎武行三道

会
告

京都哲学会公開講演会予告

日時 十一月八日(土)午後一時半
会場 京都大学文学部新館二階

一、ルーベンスと専門画家たち……………京都大学助教授 中 村 俊 春

——絵画ジャンルの多様性をめぐって——

一、神の像 (Imago Dei) と人間 ……………京都大学教授 水 垣 渉
——キリスト教人間観における一つの問題点——

※ 右終了後京大会場において懇談晩餐会(パーティー形式)を開きます。(会費五千元)
※ 所属機関長宛出張許可依頼状御入用の方は京都哲学会までお申出下さい。
※ 本年度は、開催日、開催場所とも、例年とは違っておりますので、とくに御注意下さい。

平成九年九月

京 都 哲 学 会

前 号 目 次

ケインズの哲学思想の発展……………伊藤邦武
——『確率論』の以前と以後——
種の論理とグローバル・ヴィレッジの批判
……………ジエームズ・W・ハイジック
ガンのヘンリクスにおける
ヘエッセの問題……………加藤雅人
ソクラテスの徳概念……………朴 一 功

次号論文予告

理性とは……………分別か……………荒牧典俊
最初期アドルノにおける限界概念の
認識論的機能……………西 欣也
倫理的主体をめぐって……………杉村靖彦
——レヴィナスとナベール——
パフイットのの
功利主義擁護論(完)……………奥野満里子
——人格論からのアプローチ——

会 告

一、本会は会員組織とし会員には資格の制限を設けません。入会希望の方は606-01京都市左京区吉田本町京大文学部内京都哲学会（振替口座〇一〇二〇一—一四〇三九 京都哲学会）宛に年会費一、〇〇〇円と会誌代五、〇〇〇円（教冊分）をお払込下さい。又会員への会誌送付、バックナンバー購入及び発売に關する一切は東京都千代田区麹町二一六一七創文社（振替口座〇〇一〇二〇〇一〇九二四七二）宛に願います。

一、会員の転居・入退会の事務及び編輯事務の一切は京都哲学会宛に御通知下さい。

一、本誌の編輯に關する通信・新刊書・寄贈雑誌等は本会宛にお送り下さい。

京 都 哲 学 会

606-01 京都市左京区吉田本町
京都大学文学部内
〇七五七五三二八二二

平成九年十月五日 印刷
平成九年十月十日 発行

編輯兼 京 都 哲 学 会
發行人 京 都 哲 学 会

編輯委員 蔭 田 正 勝 坦
代 表 藤 田 正 勝 坦
佐々木 丞 平
清水 御 代 明

發 売 所 株 式 創 文 社
久 保 井 浩 俊

印 刷 所 晚 印 刷 株 式 會 社
112 京 都 都 文 京 区 関 口 一 一 四 四 一 四
102 東 京 都 千 代 田 区 麹 町 二 一 六 一 七
電 話 〇 三 一 三 三 六 三 七 一 〇 一
振 替 〇 〇 一 〇 〇 九 二 四 七 二

註 文 規 定

一、会員以外の購読者の御注文及び広告掲載に關する件は「創文社」へ御申込下さい。

一、本誌の御注文はすべて代金送料共（一部、送料七三円）前金にてお送り下さい。

平成
九年
十月
十五日
發行

THE JOURNAL
OF
PHILOSOPHICAL STUDIES
THE TETSUGAKU KENKYU

NO. 564

October

1997

Articles

Hegel's "Aesthetics" as "A New Science":

On Diseases of the MindKen-ichi Iwaki

Sprache und Denken—Das Japanische und

die Philosophie Nishidas—Masakatsu Fujita

Die kritische Funktion der Affekte—Ästhetik

und Ethik bei Hermann Cohen— Fuminori Akiba

Parfit's Defence of Utilitarianism: A New Look

from the Theory on Person and Personal

Identity.....Mariko Okuno

Notes

Published by

THE KYOTO PHILOSOPHICAL SOCIETY

(The Kyoto Tetsugaku-Kai)

Kyoto University

Kyoto, Japan

I S S N 0 3 8 6—9 5 6 3

雑誌コード 06427-10 特別定価 本体 2,500 円 + 税